

青年の甘えと社会的適応に関する教育心理学的研究Ⅱ

－日本・中国学生の比較を中心に－

“Amae” and Social Adaptation of the Young Ⅱ

－A Comparison of Japan and China－

篠原しのぶ・原崎聖子

キーワード：甘え 経済意識 生活意識 日中比較

はじめに

われわれが実施したこれまでの調査研究によると、日本人学生は、他国の青年達に比べ「甘え」が有意に強いという結果が出ている（篠原・原崎、2001）。

このような現代日本青年の特徴の原因を考える時に、家庭環境を切り離すことは出来ないであろう。特に核家族化や少子化は、母子分離の困難さを招き、父親の単身赴任等の家族分離がいよいよその現象を後押しすると思われる。

一方、現代の日本においては、親も青年自身も、甘え・甘えられる事が快感であり、この現象を良しとし、早期の自立を必ずしも望まない傾向が見られるように思える。また、青年達の経済的な自立に関しても同様なことが言えるであろう。このような状況があきらかになった現在、我々は、将来の日本を支える青年の意識がどのようなものかを捉える必要を感じるとともに、家庭及び地域における教育の重要性を痛感する。

また、中国に着目すると、同じアジア圏にありながら、社会主義による改革・開放運動がすすめられて、経済は急速に発展しつつある。その中で、農村から都会への人口移動が進み、家族の形態としても、1979年に国策としていわゆる「一人っ子政策」がスタートし、1世帯あたりの子どもの数が減少したという事実にも直面するものと思われる。現在の中国大学生はその影響を受け始めた年齢だと言えよう。

一見すると、日本・中国両国の青年の成長過程における家庭環境は似通った状態であると思われるが、果たして、この両国青年達の意識にはどのような差異が見られるのであろうか。

今回の研究では、日本と中国の大学生に焦点をあてて、両国の比較の中で、日本学生の甘えについて教育心理学的に考察を加えてみることにする。そこで今回は、下記のような観点から研究した結果をそれぞれ報告する。

- ①「甘え」の日本・中国内男女差と両国の比較
- ②「経済意識」の日本・中国内男女差と両国の比較
- ③「生活意識」の日本・中国内男女差と両国の比較

Ⅰ. 調査手続き

対象：福岡市及び近郊 男子大学生 52名
女子大学生 234名

中国北京市 男子大学生 71名
女子大学生 123名

内容：甘えに関する質問 30問（5段階評定）
経済意識に関する質問 40問（5段階評定）
生活意識等に関する質問 30問（5段階評定）
期間：平成2001年7月～2001年11月

Ⅱ. 日本・中国の青年の「甘え」の男女差

まず、我々の先行研究（篠原・原崎、1998）より得られた甘え因子に含まれる項目を表1に、甘えの男女差を表2に示す。

表1. 各甘え因子に含まれる項目

引っ込み思案の甘え	項目数	信頼性係数
引っ込み思案である 控えめである 人の陰にかくれる 恥ずかしがりやである 人の後からついていくほうである	5項目	$\alpha = .8458$
受容・承認を求める甘え	項目数	信頼性係数
わかってほしいと思う 受け入れてほしい かまってもらいたい やきもちをやく 寂しがりやである	5項目	$\alpha = .8084$
屈折した甘え	項目数	信頼性係数
よく腹をたてる すぐ不機嫌になる いらいらする 周囲に八つ当たりすることがある ふてくされることがある	5項目	$\alpha = .8018$
責任回避の甘え	項目数	信頼性係数
義務をはたさない 許されると思う 責任ある仕事はしたくない 責任感がない すぐひとに頼む	5項目	$\alpha = .6729$
非自立の甘え	項目数	信頼性係数
甘さがある 未熟だと感じる 自立していないと感じる 弱音をはく 逃げ腰になる	5項目	$\alpha = .7092$
追従の甘え	項目数	信頼性係数
長いものにまかれる 人に取り入る 小異をすてて大同に付く へつらうことがある 人に従う	5項目	$\alpha = .6669$

(1998年度収集データによる)

表2. 各「甘え」の平均値 (SD) と検定結果

甘え因子	A 日本男子	B 日本女子	C 中国男子	D 中国女子	t 値および検定結果			
					A×B 日本男:女	C×D 中国男女	A×C 男子日:中	B×D 女子日:中
引っ込み思案	16.19(4.17)	15.12(3.96)	12.23(3.04)	12.10(2.87)	1.73 +	0.31 n.s.	6.08 ***	7.48 ***
受容・承認	17.80(5.02)	18.84(3.82)	15.38(3.03)	15.78(2.85)	1.67 +	0.92 n.s.	3.33 ***	7.83 ***
屈折	13.82(4.58)	15.58(4.49)	11.71(3.86)	13.09(3.72)	2.54 *	2.45 *	2.76 **	5.25 ***
責任回避	13.71(3.58)	13.06(3.10)	10.25(3.34)	10.11(3.57)	1.31 n.s.	0.27 n.s.	5.5 ***	8.11 ***
非自立	18.38(3.20)	17.91(3.64)	14.52(4.08)	14.54(3.50)	0.85 n.s.	0.04 n.s.	5.56 ***	8.42 ***
追従	14.19(3.63)	14.16(2.74)	12.57(3.81)	12.43(2.80)	0.07 n.s.	0.29 n.s.	2.36 *	5.59 ***

+・・10%、*・・5%、**・・1%、***・・0.1%水準

表2から明らかな様に、日本の学生においては「屈折した甘え」は5%水準で、また「引っ込み思案の甘え」は10%水準で男子が高く、「受容・承認の甘え」は、10%で女子が高い傾向がみられた。また、中国青年の男女差においても、「屈折した甘え」は男子が高く、不機嫌やいらいらという攻撃性を含んだ甘えは、両国男子学生に共通して女子より高いということが出来る。

つぎに、男子及び女子の日本・中国の比較を表2の後半に示す。男女ともに、「引っ込み思案」「受容・承認」「屈折」「責任回避」「非自立」「追従」の全ての甘えにおいて有意差がみられ、いずれの甘えも日本青年の得点が高くなっている。この結果は、われわれが1999年に実

施した結果と同様なものであり(篠原・原崎, 2001)、今回もまた男女ともに日本学生の甘えの高さを実証することとなった。

Ⅲ. 日本・中国青年の経済意識の男女差

以上の結果を踏まえて、「甘え」と「経済意識」との関係について研究を進める。

1. 各項目毎の比較

まず、70項目全ての日本・中国における男女差について表3、表4に示す。両国ともに、経済意識において男女

表3. 青年の金銭・経済観の差 (日本青年) N=52 N=234

内 容	男子		女子		t 値	検定
	平均	SD	平均	SD		
社会人になったら一人暮らしをしたいと思う	4.23	0.96	3.83	1.23	2.19	*
月に決まった小遣いをもっている	3.46	1.65	2.83	1.70	2.42	*
買うものをあらかじめ考えてから買い物に行く	3.69	1.24	3.46	1.19	1.25	n.s.
バスなどを使わずに徒歩・自転車で用事を済ます	3.92	1.41	3.31	1.22	3.16	**
旅行に行く時などは親に賤別をもらう	2.98	1.43	3.16	1.34	0.86	n.s.
もっと自分で稼ぎたい	4.53	0.77	4.33	0.86	1.54	n.s.
人におごるのは気持ちが良い	3.36	1.29	3.01	1.06	2.06	*
気に入ったものは高くても買う	3.65	1.18	3.47	1.11	1.04	n.s.
アルバイトは生活のためにしている	2.61	1.40	3.20	1.30	2.91	**
借りたお金はきちんと返す	4.57	0.75	4.57	0.69	0.00	n.s.
貯金をしている	2.78	1.52	3.75	1.40	4.43	**
親に経済的な負担をかけていると思う	4.36	0.99	4.55	0.78	1.50	n.s.
お金のやりくりは慣れている	2.76	1.04	2.97	1.07	1.28	n.s.
友人らに食事などをおごることがある	2.80	1.32	2.51	1.08	1.67	+
お金をためることが好きだと思う	3.17	1.26	3.33	1.12	0.91	n.s.
将来は親の面倒を見て良いと思う	3.67	1.09	3.83	0.96	1.06	n.s.
化粧品・服は自分のお金で購入する	3.63	1.32	3.89	1.18	1.40	n.s.
学費は全て親が出している	4.55	1.05	4.67	0.93	0.82	n.s.
お金は働いて手に入れるものだと思う	4.44	0.77	4.63	0.70	1.73	+
衝動買いが多い	3.05	1.36	2.88	1.27	0.86	n.s.
ブランド物には興味がない	3.50	1.50	2.93	1.30	2.77	**
アルバイト等の収入は全部自分が使用する	4.05	1.12	4.09	1.03	0.25	n.s.
無駄遣いしないように気を付けている	3.59	1.27	3.85	1.09	1.50	n.s.
親や兄弟姉妹にお金をあげることがある	2.09	1.25	2.28	1.24	0.99	n.s.
高い物は事前によく調べてから購入する	3.69	1.39	3.70	1.17	0.05	n.s.
お金を使うことが好きだ	3.17	1.23	3.20	1.12	0.17	n.s.
今月はあといくらで暮らさなければと思うことがある	3.53	1.47	3.64	1.39	0.51	n.s.
ギャンブル(スロット、パチンコ等)が好きだ	1.94	1.37	1.48	0.98	2.82	**
友人が持っているものがほしくなる	2.71	1.34	2.73	1.19	0.11	n.s.
家庭の経済状態を理解していると思う	3.40	1.17	3.67	1.05	1.64	n.s.
友人との旅行等の費用は親が出してくれる	2.44	1.17	2.43	1.32	0.05	n.s.
お金がなくなったら親に頼る	2.94	1.22	3.20	1.29	1.32	n.s.
成人式などの服にかかる費用は親が出すものだと思う	3.13	1.13	3.39	1.14	1.48	n.s.
習い事や車の免許にかかる費用は親が出してくれる	3.42	1.41	3.51	1.31	0.44	n.s.
親に借りたお金は必ずしも返さなくてよいと思う	2.28	1.14	2.26	1.09	0.12	n.s.
普段でも必要といえば親はお金をくれる	3.34	1.28	3.11	1.33	1.13	n.s.
親にもらったお金では遊べないと思う	3.05	1.21	3.14	1.10	0.52	n.s.
学生の間は親のスネをかじりたいと思う	2.71	1.22	3.03	1.11	1.84	+
社会人になっても金銭的に困った時は親を頼ると思う	2.92	1.26	2.81	1.25	0.57	n.s.
家庭の経済状況について親と話すことがある	2.90	1.28	3.30	1.29	2.02	*

+・・10%、*・・5%、**・・1%、***・・0.1%水準

表4. 青年の金銭・経済観の差 (中国青年) N=71 N=123

内 容	男子		女子		t 値	検定
	平均	SD	平均	SD		
社会人になったら一人暮らしをしたいと思う	3.00	2.20	2.96	1.34	0.16	n.s.
月に決まった小遣いをもっている	2.74	1.36	3.48	1.21	3.90	**
買うものをあらかじめ考えてから買い物に行く	3.69	1.19	3.65	1.03	0.24	n.s.
バスなどを使わずに徒歩・自転車で用事を済ます	2.97	1.32	2.90	1.12	0.39	n.s.
旅行に行く時などは親に賤別をもらう	3.08	1.27	3.13	1.15	0.28	n.s.
もっと自分で稼ぎたい	4.29	0.88	4.35	0.91	0.45	n.s.
人におごるのは気持ちが良い	3.92	1.03	4.01	0.94	0.62	n.s.
気に入ったものは高くても買う	3.22	1.27	3.42	1.11	1.14	n.s.
アルバイトは生活のためにしている	3.25	1.19	3.14	1.13	0.64	n.s.
借りたお金はきちんと返す	3.94	1.17	3.98	1.09	0.24	n.s.
貯金をしている	3.25	1.23	3.43	1.24	0.97	n.s.
親に経済的な負担をかけていると思う	3.84	1.25	4.17	0.91	2.10	*
お金のやりくりは慣れている	3.60	1.14	3.73	0.98	0.83	n.s.
友人らに食事などをおごることがある	3.50	0.99	3.75	0.95	1.73	+
お金をためることが好きだと思う	3.50	1.20	3.58	1.13	0.46	n.s.
将来は親の面倒を見て良いと思う	4.09	1.08	4.31	0.86	1.55	n.s.
化粧品・服は自分のお金で購入する	3.11	1.28	3.34	1.28	1.20	n.s.
学費は全て親が出している	3.73	1.24	3.91	1.22	0.98	n.s.
お金は働いて手に入れるものだと思う	4.15	1.12	4.30	0.93	1.00	n.s.
衝動買いが多い	3.07	1.31	3.17	1.11	0.56	n.s.
ブランド物には興味がない	2.91	1.18	2.76	1.02	0.93	n.s.
アルバイト等の収入は全部自分が使用する	3.14	1.12	2.91	1.10	1.39	n.s.
無駄遣いしないように気を付けている	3.60	1.15	3.66	1.04	0.37	n.s.
親や兄弟姉妹にお金をあげることがある	3.32	1.30	3.28	1.12	0.22	n.s.
高い物は事前によく調べてから購入する	3.39	1.31	3.95	0.99	3.34	**
お金を使うことが好きだ	2.70	1.39	2.85	1.17	0.80	n.s.
今月はあといくらで暮らさなければと思うことがある	3.16	1.28	3.02	1.19	0.76	n.s.
ギャンブル(スロット、パチンコ等)が好きだ	1.95	1.24	1.58	1.02	2.23	*
友人が持っているものがほしくなる	2.29	1.32	2.26	1.17	0.16	n.s.
家庭の経済状態を理解していると思う	3.67	1.21	3.94	1.13	1.55	n.s.
友人との旅行等の費用は親が出してくれる	2.88	1.20	3.39	1.13	2.94	**
お金がなくなったら親に頼る	2.85	1.18	3.26	1.06	2.48	*
成人式などの服にかかる費用は親が出すものだと思う	2.87	1.17	2.93	1.06	0.36	n.s.
習い事や車の免許にかかる費用は親が出してくれる	2.54	1.15	3.10	1.07	3.40	**
親に借りたお金は必ずしも返さなくてよいと思う	2.85	1.16	2.73	1.16	0.69	n.s.
普段でも必要といえば親はお金をくれる	2.73	1.29	3.27	1.22	2.89	**
親にもらったお金では遊べないと思う	3.85	1.33	4.14	1.16	1.58	n.s.
学生の間は親のスネをかじりたいと思う	2.67	1.26	2.60	1.09	0.40	n.s.
社会人になっても金銭的に困った時は親を頼ると思う	2.39	1.35	2.26	1.13	0.71	n.s.
家庭の経済状況について親と話すことがある	3.52	1.15	3.95	0.99	2.73	**

+・・10%、*・・5%、**・・1%、***・・0.1%水準

表5. 中国・青年の金銭・経済観の差(男子青年) N=52 N=71

内 容	日本		中国		t 値	検定
	平均	SD	平均	SD		
社会人になったら一人暮らしをしたいと思う	4.23	0.96	3.00	2.20	3.75	**
月に決まった小遣いをもらっている	3.46	1.65	2.74	1.36	2.63	**
買うものをあらかじめ考えてから買い物に行く	3.69	1.24	3.69	1.19	0.00	n.s.
バスなどを使わずに徒歩・自転車で用事を済ます	3.92	1.41	2.97	1.32	3.80	**
旅行に行く時などは親に饅別をもらう	2.98	1.43	3.08	1.27	0.41	n.s.
もっと自分で稼ぎたい	4.53	0.77	4.29	0.88	1.56	n.s.
人におごるのは気持ちが良い	3.36	1.29	3.92	1.03	2.65	**
気に入ったものは高くても買う	3.65	1.18	3.22	1.27	1.90	+
アルバイトは生活のためにしている	2.61	1.40	3.25	1.19	2.71	**
借りたお金はきっちり返す	4.57	0.75	3.94	1.17	3.38	**
貯金をしている	2.78	1.52	3.25	1.23	1.88	n.s.
親に経済的な負担をかけていると思う	4.36	0.99	3.84	1.25	2.46	*
お金のやりくりは慣れていない	2.61	1.04	3.60	1.14	4.15	**
友人らに食事などをおごることがある	2.80	1.32	3.50	0.99	3.33	**
お金をためることが好きだと思う	3.17	1.26	3.50	1.20	1.46	n.s.
将来は親の面倒を見てほしいと思う	3.67	1.09	4.09	1.08	2.10	*
化粧品・服は自分のお金で購入する	3.63	1.32	3.11	1.28	2.18	*
学費は全て親が出している	4.55	1.05	3.73	1.24	3.83	**
お金は働いて手に入れるものだと思う	4.44	0.80	4.15	1.12	1.58	n.s.
衝動買いが多い	3.05	1.36	3.07	1.31	0.08	n.s.
ブランド物には興味がない	3.50	1.50	2.91	1.18	2.42	*
アルバイト等の収入は全部自分が使用する	4.05	1.12	3.14	1.12	4.42	**
無駄遣いしないように気を付けている	3.59	1.27	3.60	1.15	0.05	n.s.
親や兄弟姉妹にお金をあげることがある	2.09	1.25	3.32	1.30	5.23	**
高い物は事前によく調べてから購入する	3.69	1.39	3.39	1.31	1.21	n.s.
お金を使うことが好きだ	3.17	1.23	2.70	1.39	1.93	+
今月はあといくらで暮らさなければと思うことがある	3.53	1.47	3.16	1.28	1.47	n.s.
ギャンブル(スロット、パチンコ等)が好きだ	1.94	1.37	1.95	1.24	0.04	n.s.
友人が持っているものがほしくなる	2.71	1.34	2.29	1.32	1.72	+
家庭の経済状態を理解していると思う	3.40	1.17	3.67	1.21	1.23	n.s.
友人との旅行等の費用は親が出してくれる	2.44	1.17	2.88	1.20	2.01	*
お金がなくなったら親に頼る	2.94	1.22	2.85	1.18	0.41	n.s.
成人式などの服にかかる費用は親が出すものだと思う	3.13	1.13	2.87	1.17	1.23	n.s.
習い事や車の免許にかかる費用は親が出してくれる	3.42	1.41	2.54	1.15	3.78	**
親に借りたお金は必ずしも返さなくてよいと思う	2.28	1.14	2.85	1.16	2.69	*
普段でも必要といえば親はお金をくれる	3.34	1.28	2.73	1.29	2.58	+
親にももらったお金では遊べないと思う	3.05	1.21	3.85	1.33	3.39	**
学生の間は親のスネをかじりたいと思う	2.71	1.22	2.67	1.26	0.17	n.s.
社会人になっても金銭的に困った時は親を頼ると思う	2.92	1.26	2.39	1.35	2.19	*
家庭の経済状況について親と話すことがある	2.90	1.28	3.52	1.15	2.79	**

+・10%、*・5%、**・1%、***・0.1%水準

表6. 中国・日本青年の金銭・経済観の差(女子学生) N=234 N=123

内 容	日本		中国		t 値	検定
	平均	SD	平均	SD		
社会人になったら一人暮らしをしたいと思う	3.83	1.23	2.96	1.34	6.14	**
月に決まった小遣いをもらっている	2.83	1.70	3.48	1.21	3.76	**
買うものをあらかじめ考えてから買い物に行く	3.46	1.19	3.65	1.03	1.50	n.s.
バスなどを使わずに徒歩・自転車で用事を済ます	3.31	1.22	2.90	1.12	3.09	**
旅行に行く時などは親に饅別をもらう	3.16	1.34	3.13	1.15	0.21	n.s.
もっと自分で稼ぎたい	4.33	0.86	4.35	0.91	0.20	n.s.
人におごるのは気持ちが良い	3.01	1.06	4.01	0.94	8.78	**
気に入ったものは高くても買う	3.47	1.11	3.42	1.11	0.40	n.s.
アルバイトは生活のためにしている	3.20	1.30	3.14	1.13	0.43	n.s.
借りたお金はきっちり返す	4.57	0.69	3.98	1.09	6.22	**
貯金をしている	3.75	1.40	3.43	1.24	2.13	*
親に経済的な負担をかけていると思う	4.55	0.78	4.17	0.91	4.11	**
お金のやりくりは慣れていない	2.97	1.07	3.73	0.98	6.54	**
友人らに食事などをおごることがある	2.51	1.08	3.75	0.95	10.71	**
お金をためることが好きだと思う	3.33	1.12	3.58	1.13	1.99	*
将来は親の面倒を見てほしいと思う	3.83	0.96	4.31	0.86	4.64	**
化粧品・服は自分のお金で購入する	3.89	1.18	3.34	1.28	4.05	**
学費は全て親が出している	4.67	0.93	3.91	1.22	6.55	**
お金は働いて手に入れるものだと思う	4.63	0.70	4.30	0.93	3.76	**
衝動買いが多い	2.88	1.27	3.17	1.11	2.13	*
ブランド物には興味がない	2.93	1.30	2.76	1.02	1.26	n.s.
アルバイト等の収入は全部自分が使用する	4.09	1.03	2.91	1.10	10.02	**
無駄遣いしないように気を付けている	3.85	1.09	3.66	1.04	1.59	n.s.
親や兄弟姉妹にお金をあげることがある	2.28	1.24	3.28	1.12	7.46	**
高い物は事前によく調べてから購入する	3.70	1.17	3.95	0.99	2.01	*
お金を使うことが好きだ	3.20	1.12	2.85	1.17	2.76	**
今月はあといくらで暮らさなければと思うことがある	3.64	1.39	3.02	1.19	4.19	**
ギャンブル(スロット、パチンコ等)が好きだ	1.48	0.98	1.58	1.02	0.90	n.s.
友人が持っているものがほしくなる	2.73	1.19	2.26	1.17	3.56	**
家庭の経済状態を理解していると思う	3.67	1.05	3.94	1.13	2.24	*
友人との旅行等の費用は親が出してくれる	2.43	1.32	3.39	1.13	6.83	**
お金がなくなったら親に頼る	3.20	1.29	3.26	1.06	0.44	n.s.
成人式などの服にかかる費用は親が出すものだと思う	3.39	1.14	2.93	1.06	3.70	**
習い事や車の免許にかかる費用は親が出してくれる	3.51	1.31	3.10	1.07	2.98	**
親に借りたお金は必ずしも返さなくてよいと思う	2.26	1.09	2.73	1.16	3.78	**
普段でも必要といえば親はお金をくれる	3.11	1.33	3.27	1.22	1.11	n.s.
親にももらったお金では遊べないと思う	3.14	1.10	4.14	1.16	7.99	**
学生の間は親のスネをかじりたいと思う	3.03	1.11	2.60	1.09	3.49	**
社会人になっても金銭的に困った時は親を頼ると思う	2.81	1.25	2.26	1.13	4.07	**
家庭の経済状況について親と話すことがある	3.30	1.29	3.95	0.99	4.87	**

+・10%、*・5%、**・1%、***・0.1%水準

間に有意差を示した項目は9項目であった。しかし、両国において同じ方向で有意差を持つものとしては男子学生の「ギャンブルが好きだ」、女子学生の「家庭の経済状態について親と話す」の2項目のみであった。

また、日本の学生においては、男子が高得点を示すものに「徒歩・自転車で用事を済ます」などの節約感覚と「友人らに食事をおごる」などの浪費感覚が混在している。これは女子学生においても同様で「貯金をしている」一方で、「学生の間は親のスネをかじりたい」となっていることが挙げられる。

これに対して、中国の学生においては、女子の得点が高い項目として「月に決まった小遣いをもらっている」「友人との旅行等の費用は親が出してくれる」「習い事の費用は親がだしてくれる」「お金がなくなったら親に頼る」などがあげられ、親への経済的な依存の意識に男女差がみられるのではないと思われる。

また、表5、表6には両国間の比較を示す。これによると、男女ともに日本が高い項目として「借りたお金はきっちり返す」「学費は親が出している」「アルバイトの収入は全部自分で使う」「化粧品・服は自分のお金で買う」「親に負担をかけている」などがあげられる。これ

に対して中国が高い項目としては「人におごるのは気持ち良い」「食事をおごる」「お金のやりくりは慣れていない」「将来は親の面倒を見る」「親・兄弟にお金をあげる」「親に借りたお金は必ずしも返さなくてよい」「親にももらったお金であそべない」などとなっている。

両国を比較すると、日本学生は、学費のような公的支出は親に頼っているが、個人的な収入や支出に関しては自己管理している様子が伺える。これは、中国に比べて日本の方が学生アルバイトの場が広いという社会情勢が影響していると言えるのかもしれない。また、中国学生は、金銭使用に際して、友人や親・兄弟とともに楽しむという意識があり、貸し借りに関してもおおらかさが感じられる。

2. 因子による比較

次に、2000年に日本の女子大学生より得られた経済因子をもとにして(篠原・原崎、2002)、経済意識の比較を進めていく。各因子に含まれる項目を表7に、男女差及び両国比較を表8に示す。

表8によると、日本学生においては「貯金志向」と「質素節約」で女子が高く、「自立志願」においては男子の

表7. 各経済観因子に含まれる項目

すねかじり	項目数	信頼性係数
親に賤別をもらう 旅行費用は親が出す お金がなくなったら親に頼る 習い事・免許費用は親が出す 必要といえば親はお金をくれる 学生の間はスネをかじりたい 社会人になっても親をたよる	7項目	$\alpha = .779$
計画的使用	項目数	信頼性係数
買うものを予め考えて買う 借りたお金はきっちり返す お金をためることが好き 衝動買いが多い(逆) 無駄遣いしないよう気をつける 高いものはよく調べて買う	6項目	$\alpha = .645$
浪費	項目数	信頼性係数
気に入ったものは高くても買う 友人らに食事をおごる お金を使うことが好きだ	3項目	$\alpha = .508$
質素・節約	項目数	信頼性係数
徒歩・自転車で用事を済ます あといくらか暮らすことがある 家庭の経済状態を理解している 経済状況を親と話す	4項目	$\alpha = .541$
自立志願	項目数	信頼性係数
一人暮らしをしたい 自分でかせぎたい アルバイトのお金は自分でつかう	3項目	$\alpha = .447$
貯蓄志向因子	項目数	信頼性係数
貯金をしている お金のやりくりは慣れている	2項目	$\alpha = .449$

(2000年度収集データによる)

表8. 各「経済因子」の平均値(SD)と検定結果

甘え因子	項目数	A				B				C				D				t値および検定結果			
		日本男子	日本女子	中国男子	中国女子	日本男子	日本女子	中国男子	中国女子	日本男子	日本女子	中国男子	中国女子	日本男子	日本女子	中国男子	中国女子	A×B 日本男女差	C×D 中国男女差	A×C 日中男子差	B×D 日中女子差
すねかじり	7項目	23.90(5.56)	24.63(6.42)	22.05(6.17)	23.95(5.00)	23.90(5.56)	24.63(6.42)	22.05(6.17)	23.95(5.00)	23.90(5.56)	24.63(6.42)	22.05(6.17)	23.95(5.00)	23.90(5.56)	24.63(6.42)	22.05(6.17)	23.95(5.00)	0.76 n.s.	2.34 *	1.71+	1.02 n.s.
計画的使用	6項目	21.78(4.81)	21.81(3.97)	21.21(4.11)	22.00(3.51)	21.78(4.81)	21.81(3.97)	21.21(4.11)	22.00(3.51)	21.78(4.81)	21.81(3.97)	21.21(4.11)	22.00(3.51)	21.78(4.81)	21.81(3.97)	21.21(4.11)	22.00(3.51)	0.05 n.s.	0.12 n.s.	0.71 n.s.	0.44 n.s.
浪費	3項目	9.63(2.73)	9.18(2.33)	9.43(2.79)	10.03(2.31)	9.63(2.73)	9.18(2.33)	9.43(2.79)	10.03(2.31)	9.63(2.73)	9.18(2.33)	9.43(2.79)	10.03(2.31)	9.63(2.73)	9.18(2.33)	9.43(2.79)	10.03(2.31)	1.22 n.s.	0.07 n.s.	0.39 n.s.	3.27 **
質素節約	4項目	11.94(3.29)	12.96(3.27)	13.69(3.22)	14.21(2.66)	11.94(3.29)	12.96(3.27)	13.69(3.22)	14.21(2.66)	11.94(3.29)	12.96(3.27)	13.69(3.22)	14.21(2.66)	11.94(3.29)	12.96(3.27)	13.69(3.22)	14.21(2.66)	2.04 *	0.06 n.s.	2.94 **	3.61 ***
自立願望	3項目	12.82(1.97)	12.28(2.13)	10.43(2.13)	10.23(2.16)	12.82(1.97)	12.28(2.13)	10.43(2.13)	10.23(2.16)	12.82(1.97)	12.28(2.13)	10.43(2.13)	10.23(2.16)	12.82(1.97)	12.28(2.13)	10.43(2.13)	10.23(2.16)	1.67 +	0.91 n.s.	6.32 ***	8.58 ***
貯蓄志向	2項目	5.55(2.24)	6.73(2.10)	6.85(1.95)	7.17(1.73)	5.55(2.24)	6.73(2.10)	6.85(1.95)	7.17(1.73)	5.55(2.24)	6.73(2.10)	6.85(1.95)	7.17(1.73)	5.55(2.24)	6.73(2.10)	6.85(1.95)	7.17(1.73)	3.75 ***	1.15 n.s.	3.42 **	2.02 *

+・・10%、*・・5%、**・・1%、***・・0.1%水準

方が高い傾向が見られた。中国においては「すねかじり」においてのみ女子が高いという結果が得られた。

また、日本・中国間の比較では男女ともに「質素・節約」「貯蓄志向」では中国が高く、「自立志願」では日本が高くなっている。また、女子においては中国女子の方が、日本女子に比して「浪費」得点が高いという結果が出ている。

以上、経済意識に関する日本・中国の比較をみてきたが、今回の調査において、日本学生の経済的な自立の意

識と自立の願望は高いということが示された。つまり、要求を満たすべく、アルバイト等により自分で収入を得て、自分の身の回りの用を済ませており、また、お金の貸し借りの厳密さという点からいえば、経済観念も身に付けていると思われる。しかしながら、前述の甘えの高さとの関係からすれば、この経済的自立の意識は、必ずしも総合的な人間的自立の意識には結びついてはいないといえよう。

表9. 「甘え」と経済観の相関（日本男子）

	引っ込み	受容・承認	屈折	責任回避	非自立	追従
すねかじり	0.019	0.243	0.122	0.164	0.189	0.090
計画使用	0.195	-0.230	-0.323*	-0.130	-0.096	0.035
浪費	-0.334*	0.058	0.190	-0.322*	0.043	-0.176
質素・儉約	-0.144	0.064	-0.105	-0.151	-0.018	0.073
自立願望	-0.238	0.394**	0.147	-0.292*	0.191	0.007
貯金志向	0.143	-0.440**	-0.336*	-0.268	-0.377**	0.011

+・・・10%、*・・・5%、**・・・1%、***・・・0.1%水準

表10. 「甘え」と経済観の相関（日本女子）

	引っ込み	受容・承認	屈折	責任回避	非自立	追従
すねかじり	0.100	0.260***	0.036	0.162*	0.206**	0.186**
計画使用	0.007	0.014	-0.134*	-0.283***	-0.124	-0.149*
浪費	-0.221***	0.258***	0.240***	0.119	0.158*	0.142*
質素・儉約	-0.144*	0.157*	0.170**	-0.025	0.010	0.079
自立願望	-0.042	0.221***	0.152*	0.047	0.084	0.000
貯金志向	0.008	-0.189**	-0.181**	-0.249***	-0.272***	-0.077

+・・・10%、*・・・5%、**・・・1%、***・・・0.1%水準

表11. 「甘え」と経済観の相関（中国男子）

	引っ込み	受容・承認	屈折	責任回避	非自立	追従
すねかじり	0.214	0.474***	0.347**	0.248*	0.401***	0.086
計画使用	-0.315**	-0.265*	-0.301*	-0.290*	-0.269*	-0.229
浪費	0.186	0.210	0.206	0.052	0.027	-0.037
質素・儉約	-0.158	-0.044	-0.188	-0.205	-0.038	-0.051
自立願望	-0.039	0.068	-0.014	-0.127	-0.003	0.005
貯金志向	-0.316**	-0.108	-0.020	-0.090	-0.065	0.127

+・・・10%、*・・・5%、**・・・1%、***・・・0.1%水準

表12. 「甘え」と経済観の相関（中国女子）

	引っ込み	受容・承認	屈折	責任回避	非自立	追従
すねかじり	0.050	0.096	0.019	0.213*	0.276**	-0.019
計画使用	0.018	0.098	-0.159	-0.268**	0.020	-0.026
浪費	-0.180*	0.048	0.015	0.011	0.027	0.040
質素・儉約	-0.036	0.127	-0.125	-0.092	0.089	-0.123
自立願望	-0.014	0.048	-0.008	-0.095	0.008	0.085
貯金志向	0.088	0.178*	-0.036	0.053	0.149	0.109

+・・・10%、*・・・5%、**・・・1%、***・・・0.1%水準

Ⅳ. 「甘え」と「経済意識」との関係

次に「甘え」と「経済意識」との関係を図子間の相関を見るという形式で表9～表12に示す。

表9・表10はそれぞれ日本の男子、女子の相関表であり、表11・表12は中国の男子、女子の相関を表したものである。これを見ると、中国学生は「すねかじり」と「非自立」の相関が高いのに対して、日本学生は「貯金志向」と「非自立」の間に負の相関が高いことがわかり、経済的自立と人間的自立の意識が必ずしも一致していないことをうら付けている。

今回の調査で明らかにされた日本と中国学生の経済意識と甘えに関する違いについて考察すると次のようなことが言えよう。すなわち、経済面では一見、自立した感じをうける日本学生は、実は、自分自身のために収入を得、支出し、いわば自分中心的な金銭感覚を示しているのに対して、中国学生の金銭感覚の中には自分自身のみならず、友人や家族などの他者のためにも、という意識が含まれていた。中国学生のこの経済意識は、社会の中での自分の立場を常に確認することとなり、総合的な自立心という個人の成長に影響を及ぼしているのではないと思われる。

V. 日本・中国青年の生活意識の男女差

表13. 生活意識因子に含まれる項目

伝統的女性役割	項目数	信頼性係数
女性のほうが細やかな心遣いができる。 女性のほうが身の回りの世話がよくできる。 女性は家庭的なほうが良い。 女性は喫煙しないほうがよい。	4項目	$\alpha = .6986$
伝統的男性役割	項目数	信頼性係数
男性のほうが決断力がある。 男性のほうが社会的視野が広い。 男性のほうが度胸がある。 男性のほうが大局のもの見方ができる。 男性のほうがリーダーシップがある。 男性のほうが職務に忠実である。 男性のほうが社会的成功を追い求める。	7項目	$\alpha = .8303$
自己責任性	項目数	信頼性係数
自分の考えはしっかりと主張する。 自分の考えに基づいて判断する。 自分の責任で行動する。 自己を素直にPRできる。	4項目	$\alpha = .7646$
親との親和性	項目数	信頼性係数
親は私の話をよく聞いてくれた。 いろいろなときに親はよく慰めてくれた。 親と話すのが楽しかった。 自分にはあまり親の関心が向けられなかった。 親にはよくほめられた。 親の手伝いを喜んでしていた。	6項目	$\alpha = .7817$
親の厳格性	項目数	信頼性係数
礼儀を守るよう親から厳しく言われていた。 親は決まりを守るよう厳しく注意していた。 親の言い付けを守るようきびしく言われていた。 親は言葉遣いを厳しくしつけていた。	4項目	$\alpha = .8179$
愛他性	項目数	信頼性係数
個人の命日を大事にする。 ボランティア活動をよくする。 老人を敬う。 宗教的雰囲気(気持ち)を大事にする。 進んで障害者と近づきになる。	5項目	$\alpha = .5948$

(2000年収集データによる)

それでは、以上のような差を示すにいたったと思われる背景には日本と中国の学生にどのような生活意識の違いがみられるのであろうか検証してみることにする。

表13には、2000年に得られた生活意識因子に含まれる項目を、表14には、日本・中国の性差と両国比較の検定結果を示す。

これによると、日本において男女差が見られた因子は「親との親和性」「親の厳格性」「愛他性」で、その得点はいずれも女子が高かった。また、中国において男女差が見られた因子は「伝統的男性性の尊重」で、その得点は男子が高かった。また、男子における日・中比較で有意差がみられた因子は6因子の内、「伝統的男性性の尊重」「自己責任性」「親との親和性」「親の厳格性」「愛他性」の5因子であった。また女子における日・中比較で有意差が見られた因子では「自己責任性」「愛他性」は中国が高く、「親の厳格性」は日本が高くなっていった。

以上の結果より、日本においては親との係わり方に男女差がみられた。つまり、日本の男子学生は女子に比べ、時間的にも質的にも日常的に親に対して親和的態度をとっておらず、従って、親から厳格な態度を示される場面も少ないと考えられる。中国の特徴としては、男女ともに自己責任性が高く、また、特に男子が伝統的男性性を重要視していることなどがあげられる。さらに、親の厳格性に関しては、男子が高い傾向にあり、日本とは逆に、親は男子に対して厳格さを示しているものと思われる。また、両国における愛他性得点の差の大きさ、特に、日本男子の愛他得点の低さも特徴としてあげられるであろう。

以上の結果、両国男子学生の生活意識の差は顕著であることが明らかとなった。このような生活意識の差は、日本男子学生の甘えの高さとも無関係ではないであろう。中国男子青年は、現代日本において否定されがちな「親の厳格性」と「伝統的男性性」を重要視していると思われる。これらの生活意識がその後の自立観や愛他性にも影響を及ぼす可能性が

表14. 各「生活意識」の平均値(SD)と検定結果

甘え因子	項目数	A	B	C	D	t値および検定結果			
		日本男子	日本女子	中国男子	中国女子	A×B 日本男女差	C×D 中国男女差	A×C 日中男子差	B×D 日中女子差
伝統的女性	4項目	14.80(2.46)	15.19(2.95)	14.91(3.73)	14.85(3.08)	0.88 n	0.12 n	0.18 n	1.03 n
伝統的男性	7項目	20.98(4.23)	22.08(5.57)	27.36(5.66)	22.92(5.43)	1.34 n	5.4 ***	6.85 ***	1.37 n
自己責任	4項目	14.28(2.83)	14.28(2.9)	15.63(2.84)	15.53(2.74)	0.01 n	0.23 n	2.59 *	3.95 ***
親との親和	6項目	19.73(5.03)	22.19(4.89)	21.76(3.86)	22.43(4.39)	3.27 **	1.07 n	2.53 *	0.45 n
親の厳格性	4項目	13.05(3.63)	15.55(3.32)	15.42(3.03)	14.48(3.39)	4.81 ***	1.92 +	3.92 ***	2.85 **
愛他性	5項目	13.00(3.82)	15.03(3.49)	19.02(3.46)	19.26(3.36)	3.71 ***	0.47 n	9.05 ***	11.01 ***

+・・10%、*・・5%、***・・1%、****・・0.1%水準

あるとすれば、日本においても親を始めとする周囲の大人がどのような形で「親の厳格性」や「伝統的男性性」を伝えるか、そして、それを青年がどのように受け入れていくかということが、非常に重要ではないかと考える。

今回の日本・中国の学生の比較において、両国には「甘え」「経済観」「生活意識」の中に、大きな違いが見られた。一見、同じような生育暦を持つと思われる両国でも、日本は「自分」を中心に、中国は「家族」を中心に生活している様子が伺える。その差異は、特に男子において顕著で、日本男子がさほど親との関係や男子の伝統的イメージを重要視していないのに対して、中国学生は、親の厳格性や伝統的男性性を強く意識している。これは、両国における親や男性に対する社会的な位置付けの違いが現れているものと思われる。しかしながら、これらの差異が、自立の意識や他者に対するいたわりの感情や行動に影響を及ぼしているとすれば、日本においても真剣に親の厳格性や伝統的な男性性をどのように位置付け、示していくのかということが教育的に非常に重要な課題であると考えられる。

まとめ

今回の調査で、日本と中国の大学生の「甘え」「経済観」「生活意識」という3点から、その差異をみてきた。その結果を通して、3点それぞれにおける違いを以下にまとめてみる。

1. 「甘え」に関しては、前回の調査と同様に、日本学生の甘えが中国の学生の甘えを男女ともに大きく上回っていた。
2. 「経済意識」に関しては日本の学生は男女ともに、経済的自立意識が高く、貸借の金銭感覚も発達していると言えるが、一方、お金の使用は自分中心的である。中国の学生は、金銭使用に関して、家族・友人と共有するという感覚があり、貸借の金銭感覚も大らかである。また、男女の差が見られ、男子よりも女子の方が親に依存している。
3. 「生活意識」に関しては、日本において男女差がみられ、女子学生に比べて、男子学生が親との接触時間や親和性が低かった。また、中国の学生は男女ともに、自己責任性や愛他性が高かった。また、中国男子学生は伝統的男性性を重視しているのに対して、日本男子学生は親の厳格性や愛他性等の低さが非常に顕著であった。

主要参考文献

- ・ 北山 修他 (1999) 「日本語臨床3「甘え」について考える」 星和書店
- ・ 土居健郎 (1971) 「甘えの構造」 弘文社
- ・ 土居健郎 (1987) 「甘えの周辺」 弘文社
- ・ 篠原しのぶ・原崎聖子 (1999) 「青年の「甘え」と社会的適応に関する調査研究」 福岡女学院大学人文学研究所紀要 人文学研究 第2輯 173-199
- ・ 篠原しのぶ・原崎聖子 (2001) 「青年の甘えと社会的適応に関する調査研究Ⅲ」 福岡女学院大学人間関係学部編研究紀要 第二号 35-43
- ・ 篠原しのぶ・原崎聖子 (2002) 「青年の甘えと社会的適応に関する発達心理学的調査研究」 福岡女学院大学紀要 人間関係学部編 第3号 61-69
- ・ 早坂泰次郎 (1994) 「関係性の人間学」 川島書店
- ・ 河合隼雄 (1996) 「日本人とアイデンティティ」 講談社

科学研究費

「民族文化の境界領域に関する文化力学的研究(代表者 丸山孝一)」の内、分担研究「子どもの文化習得過程におけるしつけの研究」の第一報